

図画工作

第5学年

育成を目指す資質・能力 【課題発見・解決力】【主体性】

題材名

## 「ようこそ広小学校へ」～最高級のおもてなし～

### 【題材の概要】

児童は、学級活動で学習発表会のめあてを考えることをきっかけに、来てくださる方に「おもてなし」をしようという意識をもちます。そして、身近な「おもてなし」について考えるを通して、自分たちにもできる、「最高級のおもてなし」をするために、来てくださる方が通り抜ける空間を飾り付けようという取組を実行していきます。学校行事、学級活動と関連させた取組となっています。

学習指導要領における領域・内容  
A表現(2)絵や立体、工作に表す活動  
他教科等との関連  
特別活動

### ◆題材の目標

「最高級のおもてなし」をするために、表現したいもののイメージを膨らませて、自分たちの思い描いたイメージが表れるように、段ボールや用具の特性を生かして意欲的に表し方を工夫したり、互いの作品を交流しながら、表現の意図やよさや面白さを味わったりすることができる。

### ◆題材の展開（特別活動2時間、図画工作科9時間）

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>特別活動(2)</b>		
<b>課題の設定(1)</b>		
<p>学習発表会のめあてについて考え、それを成功させるために自分たちにできることを考える。</p>	<p>○自分たちの力を高めて、いいものを見てもらいたい！演技の練習は最後まで全力で頑張ろう！！</p> <p>○家族や地域の人に、自分たちの力を感じ取ってもらいたいな。演技はもちろん頑張るけど、それ以外にもできることはないかなあ？</p> <p>学習発表会のめあてを考えることで、演技での工夫と演技以外で自分たちにできる工夫について気付く。</p>	<p>■来てもらった方に喜んでもらうために、何ができるかを考えさせることで、演技以外に自分たちにできないかを考えさせるようにする。</p> <p>■東京オリンピックが開催させることに触れ、その準備として国内では海外から人を招き入れるために、どのような動きが出ているかについて、テレビ等で見たことを基に思い出させることで、「おもてなし」という視点で、学習発表会を成功させるためにできることを考えさせる。</p> <p>■自分の家や身の回りの「おもてなし」について考えさせることで、いつも学校の様々な場所に飾ってある「花」に着目させる。</p>
<p>学習発表会に向けて、たくさんの人を学校にお招きするという視点で、自分たちにできることを考える。</p>	<p>○そういえば、東京オリンピックでは「おもてなし」って言ってたよね。東京の方では、外国の方々をお招きできるように、いろんな準備が始まってるってテレビでやってたよ。</p> <p>○来ていただく方に、満足してもらいたいからだよ。ぼくたちも学習発表会に来てくれる家族や、地域の方々に、「最高級のおもてなし」ができないかなあ。</p> <p>学習発表会に来てくださる方々への「おもてなし」という視点で、自分たちにできることを考え始める。</p>	
<p>身の回りの「おもてなし」には、どのようなものがあるかを考える。</p>	<p>○我が家では、お客さんが来る時にはきれいに掃除をするよ。</p> <p>○玄関に、飾りを置いたりしているな。</p> <p>○そういえば、ぼくたちの学校の下駄箱の上やトイレの前に、いつもかわいい花が飾ってあるよね？</p> <p>自分たちの生活の中にある身の回りの「おもてなし」について具体的に考え始める。</p>	

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>学校に飾ってある花について調査する。</p> 	<p>○あれは、誰が何のためにしてくださっているのだろうか？ ○時々、誰かが花を飾りに来てくださっているよね。見たことはあるけど…。 ○その方に、インタビューしてみようよ。</p> <p>「学校にいつも飾ってある花に着目し、「おもてなし」の視点で考え始めると共に、調査の必要性を感じる。」</p>	<p>■学校にいつも飾ってある花に着目させることで、自分たちの身近にある心遣いである「おもてなし」に気付かせるようにする。</p> <p>■いつ来られているのかを調べ、インタビューの計画を立てる。</p>
<b>情報の収集、整理・分析（1）</b>		
<p>学校に花を飾ってくれている方にインタビューをして、その思いを知る。</p>  <p>自分たちにできる、学習発表会に向けて、具体的な「おもてなし」を考える。</p>	<p>○12年も前から来てくださっていたなんて知らなかったよ。 ○仕事に行く前に、朝早く毎週来てくださっていたんだ。大変なことだよ。 ○ぼくたちに、毎日気持ちよく登校して欲しいからだったんだ！ ○この花は、広小学校の子どもたちへの、「おもてなし」だったんだね。</p> <p>「普段何気なく見ていた花には、自分たちへの思いが込められていることや、長年してくださっていたことを知ることで、自分たちへの「おもてなし」の心であることに気付く。」</p> <p>○学習発表会に向けて、ぼくたちも「おもてなし」として、学校を飾ろうよ。 ○どうやって？花はお金がかかるよ。お金がかからずに見えることってあるのかな？ ○たくさん学校にあるものを使って、何かつくって飾ろうよ！ ○新聞や段ボールならたくさんあるよ。 ○4年生の時に段ボールを切って、組み合わせる活動をしたよね！新聞紙よりしっかりしたものがつくれそうだから、段ボールにしよう！ ○よし、段ボールを使って最高級のおもてなしをするぞ！！</p> <p>「「おもてなし」のために、身近な素材で作ることはできないかを考え始め、学校を飾るという目的意識や製作意欲が高まってくる。」</p>	<p>■実際に花を飾ってくださっている方にインタビューをすることを通して、今まで気付くことがなかった、花に込められた、自分たちへの思いに気付かせる。</p> <p>■日常生活の中で、児童が見過していることに目を向けさせることで、何気なく飾ってあるものがもつ意味や、それを飾ってくださった人の思いに気付かせると共に、これからの学習活動と関連させることができる。（学校の玄関の生け花、季節感のある掲示物、廊下の絵画、公共施設や病院に飾ってある絵画等）</p> <p>■学校にたくさんあるものを使って「おもてなし」の飾りができないかを考えさせる。</p> <p>■既習の4学年での学習を具体的に振り返らせ、その時学んだ段ボールや用具の扱い方、表現方法を生かしてつくろうとする意識をもたせる。</p>
<b>図画工作（9）</b>		
<b>課題の設定（1）</b>		
<b>ようこそ 広小学校へ！ 最高級のお・も・て・な・し</b>		
<p>学習発表会に来てくれた方に「おもてなし」するために、どこに、何をつくって飾るのかを考える。</p>	<p>○段ボールで、どこに何を飾ろうか？ ○来てくださった人みんなが、通る場所に飾るといいよね。 ○体育館の玄関なら、みんなが通るよ！ ○体育館の中にあってもいいね！ ○飾ってある場所を通り抜けると、いよいよ始まるという感じになって気分が高まるよね。お出迎えにはびったりの場所だ！ ○それなら、それぞれの学年プログラムを紹介するような飾りにしたらどうかな。そうすれば、来てくださった人に今からどんな発表があるのか伝えることもできるよね。 ○いいね！プログラムを中心として、そこを通るとわくわくするような飾りをつくって飾ろうよ！ ○各学年の演技内容を調べないと！！</p> <p>「「最高級のおもてなし」をするという目的をもち、何をつくるのか、どこに飾るのかという具体について考え始める。 各学年の演技内容について調べる必要性を感じ、調査の計画を立てる。」</p>	<p>■実際に校内を歩き、目的に合う飾り付けの場所を考えさせる。その際、来られた方がどこを通過して体育館に入るかという動線を考え、歩かせることで、より効果的な場所を見付けさせると共に、相手意識をもたせるようにする。</p> <p>■場所が決まったら、どのような飾りにするかを、その場所、その空間で考え、互いに交流させることで、イメージをもちやすくさせる。</p> <p>■自分たちの担当する学年を決め、各学年の先生方に学習発表会のプログラムの内容について調査を行わせる。また、質問内容を話し合わせることで、飾り（作品）を製作する上で必要な視点を明確にもたせ、表現する際に生かしていけるようにする。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>情報の収集、整理・分析、表現・創造（6）</b>		
各学年の演技内容や取組に対する思いを調査し、グループごとにつくる飾りのテーマを決めて、構想を練る。	<p>○3年生は、国語「サーカスのライオン」のお話がテーマなんだって。「じんざ」が命がけて炎の中に飛び込む場面が一番心に残っているよ。涙が出そうだったよ。その場を表現しようよ！</p> <p>○6年生は「コンドルは飛んで行く」の合奏だって。力強く演奏したいと言っていたから、コンドルが大空を力強く羽ばたいている様子を伝えたいな。</p>	<p>■単に演技内容のテーマで作品をつくるのではなく、その中で何を伝えたいのか、そのためにどのような工夫をするのかをグループで話し合い、アイデアスケッチにかきながら考えさせる。</p>
演技内容に合わせて、どのような飾りにするのか、グループで話し合い、アイデアスケッチに表す。	<p>自分たちの体験や調査してきたことを基に、作品のイメージを考え始める。</p>	
段ボールの新たな加工や表現の方法を試しながら、自分たちの作品に使える表現の仕方について考える。	<p>○切るのは1学期に使った糸のこぎりを使えば、細かい部分も切れるね。もっと自由に段ボールを曲げたり丸めたりできないかな。</p>	<p>■既習の体験を思い出させ、板書に提示することで、段ボールの加工の仕方を活用できるようにする。</p>
グループごとに、段ボールを表現意図に合わせて、加工しながら作品をつくる。	<p>既習の体験を振り返ったり、段ボールの新たな加工や表現の方法を試したりしながら、自分たちの作品に使える表現方法を見付けていく。</p>	<p>■段ボールの新しい加工方法（水に浸して柔らかくして思い通りの形にする方法や、はがして波の部分を表に出したりする方法等）、については、教師が提示したり、教科書を見たりしながら全員で体験し、表現する際に活用できるようにする。</p>
	<p>○「じんざ」は炎の中に飛び込むから、たてがみは風で揺れているように表したいな。</p> <p>○命がけて男の子を助けたいと思っているから、目にもそういう気持ちが現れるようにしたい。</p> <p>○力強く羽ばたくためには、大きな翼がいるよね。羽ばたくようにするために、ふさふさとした感じで翼を表したいよ。</p> <p>○強そうなコンドルにするために、目も、くちばし、つめはするどくしたらいいな。</p>	 <p>■ワークシートと作品を比較させることで、自分たちの思いやイメージが表現できているかを確認し、更なる工夫について意見を出し合わせる。</p>
<b>実行、情報収集、整理・分析、まとめ、振り返り（2）</b>		
飾り付けをして、互いの作品を交流し合う。	<p>○コンドルが飛んでいるように見えるよ。それは、翼の毛をバサバサした感じにしているからだね。</p> <p>○大きな翼やするどいくちばしだから、とても強そうに感じるな。</p>	<p>■作品を飾った場所で互いの作品の鑑賞を行い、他のグループの表現意図や表現の工夫を考えさせる。</p>
	<p>それぞれの作品について、表現意図と表現の工夫を結び付けながら考える。</p>	<p>■なぜそう感じるのか、どの部分のどのような表現から思ったのかという根拠を明確に発言させる。</p>
アンケート結果等を基に、自分たちの活動について振り返る。	<p>○とても喜んでくださったね！来られた方だけでなく、他の学年からもお礼のコメントがあったよ！ぼくたちの「おもてなし」は大成功だったんだ！</p> <p>○来年は、6年生に代わって、自分たちが中心となって色々な活動に取り組んでいくぞ！</p>	<p>■来場者、先生方、家族等にアンケート調査を実施し、自分たちの活動を客観的な視点で振り返らせる。</p> <p>■来場者から、「各学年の演技構成に合わせた題材を、段ボールの素材の特性を生かして上手に表現されていると感心しました。協力し合い、一生懸命に手作りで作成されている姿を思い浮かべました。ありがとうございました。」や、児童から「2年生の妹が、『がんばってくれて、ありがとう。』と言ってくれて、うれしかった。」という感想があった。</p>

### 【児童生徒の変容】

学習発表会や身の回りの出来事と関連した課題設定を行うことで、次の時間が待ちきれず主体的にアイデアスケッチを行ってくる児童がいるほど学習意欲がかなり高まり、最後まで意欲的に活動することができた。「おもてなし」の気持ちの基に、身近なもので学校を飾りたいという課題意識や、各学年の演技内容を伝えるという視点を明確にもって活動したので、試行錯誤しながらどのように表現していくか根気強く考えることができた。また、自分の表現意図に応じて段ボールの特性を生かし、様々な表現方法を取り入れて工夫しながら作品をつくることができた。さらに、アンケート調査により、自分たちの作品で来場者に喜んでもらったという実感を味わうことができ、図画工作科の目標を達成するだけでなく、この活動を通して、もうすぐ最高学年になるという自覚をもつことができた。